

芸能 水金

来月2日リサイタル 西澤安澄(ピアニスト)に聞く



西澤安澄 (提供)

「スペインは広く、地方色が豊か。北のバスク地方のしめやかな美、東のバルセロナが中心となっている。」

「スペイン音楽はダイナミックに感情を表現するものが多い。底抜けに楽しい音楽から、涙を誘われる悲しみの旋律まで、初めて聴いても、すっと心に染みる力がある」

スペイン在住のピアニスト西澤安澄のリサイタルが10月2日午後1時半から那覇市・那覇文化芸術劇場なほ1の小劇場で開催される。フアリヤやタレガなどのスペインの作曲家の作品などを演奏する。西澤に、公演に込めた思いなどをメールでインタビューした。(聞き手 金城実倫)

スペイン旅行の気持ちに

「去年の公演を企画した沖縄尚学高校教諭の上野浩司さんが、今年逝去された。副題は「上野浩司先生に捧げる」とある。」「がん治療の傍ら、学校で教え続け、がんと生きることについて知ってもらおうと社会活動をなさっていた先生に勇気をもらった。先生は『(安澄さんの)音楽はどんな薬よりも効く』と、各地での演奏会に駆け付けてくれた。『私ではなく音楽の持つ力です』と申し上げたが、空気の振動を通じて体に響く音

「昨年最初の沖縄公演では1曲ずつ解説を交えた。『音楽家は言葉でも音楽を伝えられなければいけない』とフランス人の師匠に教わった。今回もスペインでの生活のことや、曲の背景などを話しながらコンサートに挑む」

「ピアノやスペインが好きの方はもちろん、元気が欲しい方、ほっと一息つきたい方、ピアノの演奏会が初めての方にもぜひ聴いてほしい。スペインの生活のあれこれを話しながら演奏するので、コンサート会場でスペイン旅行をしてきたような気持ちになっただけだったら本当にうれしい」

「西澤安澄スペイン・ピアノ・リサイタル(上野浩司先生に捧げる)」の入場料は前売り券3千円、当日券3500円。問い合わせはTara音楽芸術舎(仲村稟) 090(3999)2948。



「夢霞」で花の... 玉城匠、佐辺良、数道彦=4日、

「素踊りの可能性を探りたい」と話した。歌三線は仲村、喜納、平良大、箏は池間、笛は入嵩西諭、胡弓は森田夏子、太鼓は久志大樹。(伊佐尚記)



披露した。藝能多... 一度の開催だが、今回は新型コロナの影響で4年ぶりの開催となった。研究所による八重山民謡